

1886
2009
5/15

府職の友

発行所/大阪府関係職員労働組合
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59
電話 06(6941)351・内線3740
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人/平井賢治 編集人/西村浩美
(1部10円 組合員の購読料は組合費に含まれています)

大阪版市場化テストの問題
を明らかにする交流集会

●とき 5月27日(水)
18時45分～
●場所 エルおおさか
606号室

夏季一時金 0.2カ月分凍結」提案

生活破壊につながる 不当な一時金削減反対

12日、府当局は府労組連に対し、「平成21年6月期の期末・勤労手当の支給月数の一部凍結について」として、夏季一時金0.2カ月分を凍結する不当な提案を行いました。

大阪府ではすでに「財政再建プログラム案」に基づき一時金の4%カットや給与の大幅カットが行われており、これ以上の削減は職員生活がますます悪化し、

「格差と貧困をなくせ」「大企業の内部留保を吐き出せ」との社会的世論の高まりに対し、財界は、09春闘の前段で経済危機、業績悪化を理由とした雇用破壊・賃下げを強めました。今回の一時金削減は、これら財界・大企業の雇用破壊・賃下げを人事院・人事委員会、そして政府・大阪府が同調・追認するものであり、全労働者の雇用破壊と賃下げの悪循環に一層の拍車をかけるものです。

雇用破壊、賃下げに同調

「格差と貧困をなくせ」「大企業の内部留保を吐き出せ」との社会的世論の高まりに対し、財界は、09春闘の前段で経済危機、業績悪化を理由とした雇用破壊・賃下げを強めました。今回の一時金削減は、これら財界・大企業の雇用破壊・賃下げを人事院・人事委員会、そして政府・大阪府が同調・追認するものであり、全労働者の雇用破壊と賃下げの悪循環に一層の拍車をかけるものです。

ルール違反の賃下げ

労働基本権を制限しておきながら、ILOの再三にわたる勧告に従わず、従前の賃金決定ルールを無視して強行するという労使関係の乱暴な蹂躞です。当局は、5月府議会に条例改正案を提案したいとしており、充分な協議期間が保障されておらず、これまでの労使慣行に違反するものです。

公務員バッシングを 活用した政治的意図

自民党のプロジェクトチームが2月から議員立法による国家公務員の一時金引き下げ法案の検討を開始していたことから、公務員バッシングを活用した国民の支持取り付けを狙った総選挙を前にして政治的意図を持った攻撃です。

大阪府が取るべき政策

府労組連は提案に対し、すでに5年にわたり4%カットが継続され、昨年8月から大幅な賃金カットが行われている状況も鑑み、今回の一時金の削減は到底認められないことを表明するとともに、①経済危機のもとで、労働者や下請け中小企業者が生存の危機にさらされている時、派遣や期間工を含め従業員の雇用や生活を守ること、下請け中小企業者への仕事の確保や価格保障を行うよう大企業に対し強く要請すること、②大阪版市場化テストや民間委託による労務単価の引き下げ、福祉や医療職場での低賃金状況の放置など官製ワーキングプアをつくるのではなく、公務サービスを担う労働者の賃金改善のための公契約条例の制定や公私間格差の是正を行うことなどを当局に求めました。

「全職員署名」など 緊急的な闘争強化

協議期間が短いことから取り組みが緊急的なものになります。夏季一時金削減に反対し、雇用・地域経済対策を求める緊急要請署名をはじめ、民間労組と共同した府民宣伝行動、決起集会等を取り組み、夏季一時金削減を許さない闘いを展開します。取り組みへの協力をよろしくお願いたします。

「府民も職員も元気になるような施策を」

新しい仲間とともに府民・職員生活を守る府政を実現しよう!

府労組連決起集会

とき 5月19日(火) 19時～
場所 府庁正面玄関前



府労組連決起集会の様子

4月新しい仲間が府職員として入庁しました。府職労は、入庁式宣伝行動及び組合説明会、新規採用職員へのアンケートや喫茶店交流会などを実施し、労働組合への加入をきやすい職場環境」の順と訴えました。アンケートは、府職労(事務、技術職など)で127名、病院労組で243名の計370名から回答が寄せられました。「働く上で一番大切にしたいことは？」の質問は、「仕事のやりがい」がトップ、「職場の人間関係」「働きたいことは？」の質問は、「生活を守りながらの財政再建を求める意見が多数ありました。」

労働組合に期待が高まる

府職労への加入は、健康センターに配属された新採用員全員加入をはじめ交流会以降も連日、各支部から府職本部に加入届けが送られています。また病院労組もすでに100名を超えています。新しい仲間を迎えています。衣食住をいとも簡単に奪う派遣切りなど大企業の横暴にストツプをかける労働組合運動に期待が高まっています。府民・職員のくらしを守る府職労働運動の隊列に是非あなたも加わってください。

Q 働く上で心配ごとや知りたいことは？
A 自分自身の健康、職場の環境・雰囲気、職場に適應できるか、職場の人間関係、コミュニケーション、結婚・出産を考えている、仕事と家庭の両立はできるのか、必要な知識や技術を身につけるにはどうすればよいか、具体的な福利厚生、保険や、年金に関すること、財政が厳しい中、労働条件がどのように変わるか、出先機関の民営化や、独立行政法人化など、給料のさらなるカット など
Q 大阪府に期待することは？
A 財政再建の後、給料アップさせて欲しい、府民にとつてよいことであれば、どんどん改革して欲しい、府民も職員も元気になるような施策を考えて欲しい、安全で安心のくらしの実現、継続、これ以上の給料カットはやめてほしい、新卒採用を増やすこと、楽しく仕事が出来ればいいなと思います
◆大阪府民と大阪府職員が一体となった行政職員を大事にして欲しい など

遊歩道

映画「荒木栄の歌が聞こえる」を見た。荒木栄って誰？と知らない人が多いと思いますが、組合の集会で「がんばる」を歌ったことがある人は、作曲した人だと言えは思いつくのでは。映画は、国が石油にエネルギー政策転換をする中で、三井・三池炭鉱労働者の闘いをドキュメンタリーで描いています。荒木栄は、労働者や家族仲間を励ますために歌を通じて結びつき、団結を強めていき全国的な闘いへと発展させます。炭鉱労働者の家庭で育った私に一人の思いがあるのかもしれないが、労働者が要求実現に向けて闘うエネルギーに感じました。国民・労働者が団結することは容易なことではありませんが、この間の暮らしや平和の闘いなどで明らかかなように、草の根運動が、一歩、一歩、着実に前進しています。当時の「三池闘争」と同様に、国民・労働者の怒りが世の中を変える原動力になることを映画を見てあらためて確信しました。荒木栄は、昭和38年、38歳の若さで胃がんを患い亡くなりました。70曲の歌を作り、その歌は今でも国民・労働者を励まし続けています。(N)